

普及現地情報



発信年月日:令和8年(2026年)9月1日
所 属 名:高島農産普及課
番 号: H26012
発 信 者 名:小嶋、大角

近江米新品種「ことさんさん」の現地研修会を開催！

令和8年8月28日(金)に近江米新品種「ことさんさん」の第2回目の現地研修会を開催しました。7月1日(水)に開催した第1回目の研修会と合わせて、生産者延べ21名、関係者延べ18名の出席があり、この品種の作付を推進しました。

近年の夏の猛暑等による影響で近江米の品質が低下しており、特に「キヌヒカリ」の品質低下が深刻で、生産現場からはその代替となる高温耐性を持った新品種が求められていました。そうした中、農業技術振興センターにおいて「キヌヒカリ」の後継品種として高温耐性を持った「ことさんさん」が育成され、来年度からの一般栽培を見据え、今年度、県内各地で実証ほを設置しています。

当課では JA レーク滋賀と連携して「キヌヒカリ」から「ことさんさん」への品種転換を進めていけるよう、管内に設置した実証ほにおいて、現地研修会を開催しました。研修会では当課から「ことさんさん」の推進の背景や品種特性、実証ほの生育状況について説明を行った後、「キヌヒカリ」と「ことさんさん」の生育の違いを見比べていただきました。出席者からは『「ことさんさん」の止葉が立っており、収量が期待できそう』や「一度食べてみたい」といった声が聞かれ、「ことさんさん」に対する期待が感じられました。

当課は引き続き、令和9年産の一般栽培開始に向けて、「ことさんさん」の作付を推進していきます。



図1.研修会の様子



図2.「ことさんさん」実証ほ